

8月28日(月)ハンガリー研修が始まり、1週間が経ちました。大学では、ヨーロッパ・ハンガリー・看護の講義だけではなく、薬学部において輸液バッグ製剤の調製の仕方を具体的に作業しながら学び、薬に関する理解も深まりました。

他にもシミュレーションラボでは、実際に自分たちが大学で使っているよりも、本物の患者さんに近いシミュレーターのマネキンや機器を使った授業を受け、救急時にどのような視点や対応が必要なのかということを確認することができました。

また、精巧な出産シミュレーターを用いて分娩の様子や観察の方法を学び、座学だけでは難しかった出産の経過に伴うモニターの観察や、胎児の動きについて理解が深まりました。週末には各々が立てた計画をもとにハンガリーを周り、異国の歴史や文化を肌で感じることができています。英語の授業やコミュニケーションは難しいですが、大学の先生方やサポートの学生さん、ハンガリーの国民の皆さんはとても親切で楽しく過ごさせています。あっという間の1週間でしたが、とても充実して学びの多いものとなりました。残りの2週間も今週以上のことを学べるよう五感をフルに使って頑張っていきます。

A1チーム：山本 恵理子







